

『パンドラの匣』あとがき

太宰治

青空文庫

この小説は、終戦後に仙臺の河北新報社から出版せられたものであるが、河北新報社が或る印刷技術の支障に依り、再版に手まどる様子で、読者の要望もある様子だし、河北新報社出版部の宮崎泰二郎氏の好意ある了承のもとに、その再版を、岩月英男君にゆだねた。

岩月君は、私と十年もそれ以上も昔からの知合ひである。井伏鱒二氏の門にかよつてゐたので、私と知合ひになつたのである。このたび、出版業をはじめるさうで、その第一出版を、同門のよしみで、私のこの「パンドラの匣」にしたいと言ふ。いまの状態で、あなたに出版業をはじめる事の難儀は、私の如き迂愚の者に

も察しがつく。さいはひにして、大過無き出発となつてくれたら
よいと、いまはそれを祈るばかりである。以上。

昭和二十二年晩春

青空文庫情報

底本：「太宰治全集¹¹⁾」筑摩書房

1999（平成11）年3月25日初版第1刷発行

初出：「パンドラの匣」双英書房

1947（昭和22）年6月25日発行

入力：小林繁雄

校正：阿部哲也

2012年1月7日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www>

W.aozora.gr.jp)で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

『パンドラの匣』あとがき

太宰治

2020年 7月13日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

Bilibili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>